

通貨ニュース(2015 年 1 月 28 日)

シンガポール: MAS 通貨政策変更

- シンガポール金融管理局(MAS)は本日臨時で通貨政策見直しを行い、「実効レート of 緩やかなシンガポールドル高誘導」を継続するものの、その誘導ペースを減速すると発表。政策バンドの幅、中心値については変更なし。
- 通貨政策の変更はシンガポールドル高誘導ペースを 2012 年 4 月に加速して以来約 3 年ぶり。シンガポールドル高誘導ペースの減速自体はある程度予想されていたが、通貨政策は通常 4 月と 10 月に行われる定例の見直しで変更されるため、タイミング的には予想外であった。我々は MAS が FRB による利上げの影響を見極めた上で、恐らく今年 10 月に変更するだろうと予想していた。
- MAS は臨時の変更の理由を、昨年 10 月以降の環境の変化を受けて 2015 年のインフレ見通しに重大な修正があったためと説明している。MAS は世界経済減速によるシンガポール景気下振れリスクと、国内の労働市場逼迫によるインフレ圧力というジレンマに直面していたが、最近の原油価格の急落により国内のコストプッシュ要因から来るインフレ圧力が緩和されたことで、シンガポールドル高誘導ペースを減速し予防的に金融引締め度合いを緩める余地が生じたということであろう。
- MAS は 2015 年の成長見通しを昨年 10 月時における +2.0~4.0% に据え置いた一方で、インフレ(総合消費者物価指数)見通しは前回の +0.5~1.5% から ▲0.5~+0.5% へ引き下げた。(同インフレ見通しは原油価格(WTI)が 40~70 ドルで推移するとの予想に基づいたものである。)
- MAS の通貨政策変更は予想外であったため、発表直後にシンガポールドルは対ドルで 1.34 近辺から 1.35 台後半まで急落している。

シンガポール資金部

鈴木 教子

+65 6416-0517

clara.suzuki@mizuho-cb.com

(日本での問い合わせ先)

国際為替部

マーケット・エコノミスト

深谷 公勝

03-3242-7065

masakatsu.fukaya@mizuho-bk.co.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。